

# 当面の技術対策（畜産編）

令和5年10月15日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部会

## 1. ふん尿散布について

### （1）土壌凍結前（10月下旬）までに作業を終わしましょう

肥料成分の有効活用と環境汚染防止の観点から、ふん尿散布は土壌凍結前の10月下旬を目途に作業を終わしましょう。

### （2）減肥する際の注意点

#### ① ふん尿はできるだけムラ無く散布する

化学肥料を減らした分、有機物（ふん尿）から供給される肥料養分量が必要になります。散布ムラは作物の生育ムラにつながるので丁寧に作業しましょう。

#### ② 深おこししない

深おこしは、養分が少ない下層土を表層に持ってくることになるので、作土層の養分量が減少してしまいます。プラウでおこした際、表層の土色が大きく変化した場合は深おこしの可能性があるので、耕起深の調整が必要です。

#### ③ 減肥の可能年限を確認する

減肥の可能年限はリン酸・苦土・カリ（低地土・台地土）が3年、カリ（火山性土・泥炭土）が1年です。減肥の可能年限が近づいたら土壌分析及び施肥設計が必要です。

## 2. 更新草地への雪腐病対策

暖かい日が続く、例年よりも遅い作業に挑戦した方も見受けられます。秋季に播種した草地で株が十分に生育していないと、雪腐病の被害を受けやすくなります。牧草の生育状況を確認し、雪腐病防除薬剤の散布を検討しましょう（表）。薬剤散布後に降雨があると防除効果が低下する恐れがあるため、雪が降り始める11月中旬を目途に薬剤散布をおこないましょう。

### 【越冬可能な草丈（目安）】

- ・チモシー主体アルファルファ混播草地（チモシー16cm程度、アルファルファ9cm程度）
- ・チモシー単播草地（チモシー7cm程度）

表 雪腐病防除薬剤例

薬剤名	作物名	病害名	使用濃度	使用時期	使用回数
トップジンM水和剤	イネ科牧草	雪腐大粒菌核病	1,500～2,000倍	根雪前	2回以内
	マメ科混播牧草	菌核病	2,000倍	根雪前	1回